

伏羲^{ふっぎ}から倉頡^{そうけつ}に至^{いた}って始めて^{はじめて}文字^{もじ}を制定^{せい}し、

始^{はじ}

めて

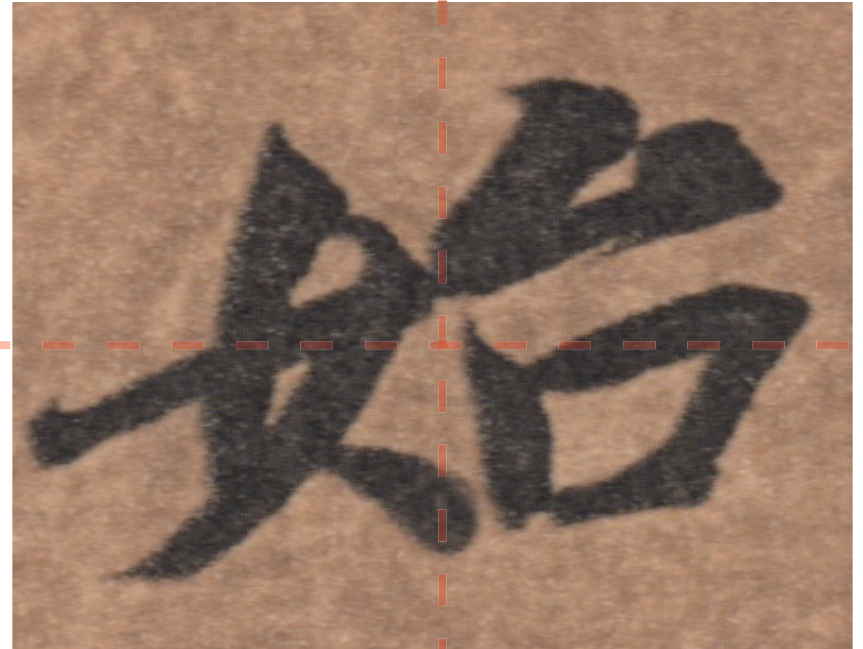
文^も

字^じ

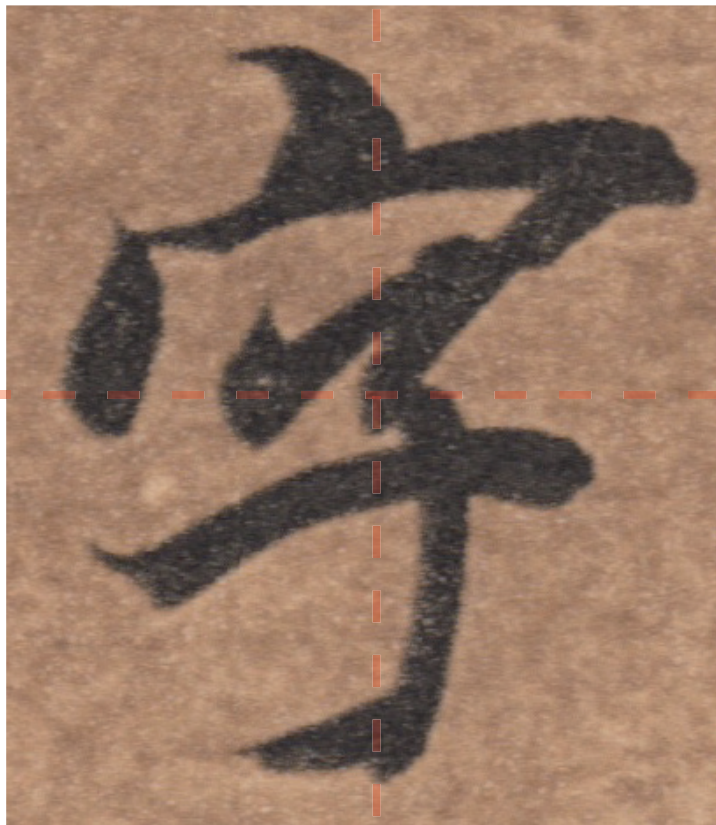
を

制^{せい}

し、



文



それから黄帝の時、衣裳を着用した。



すなわ

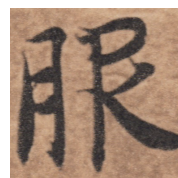
ち



いしよう

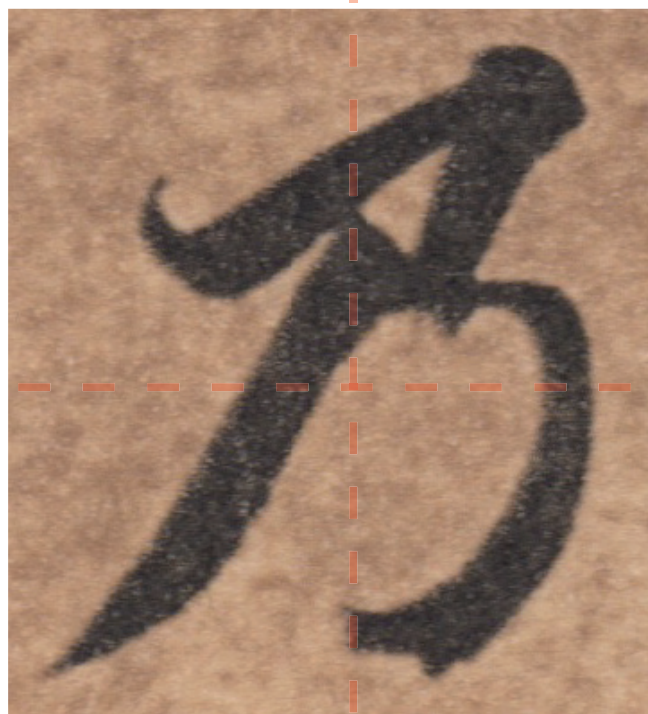
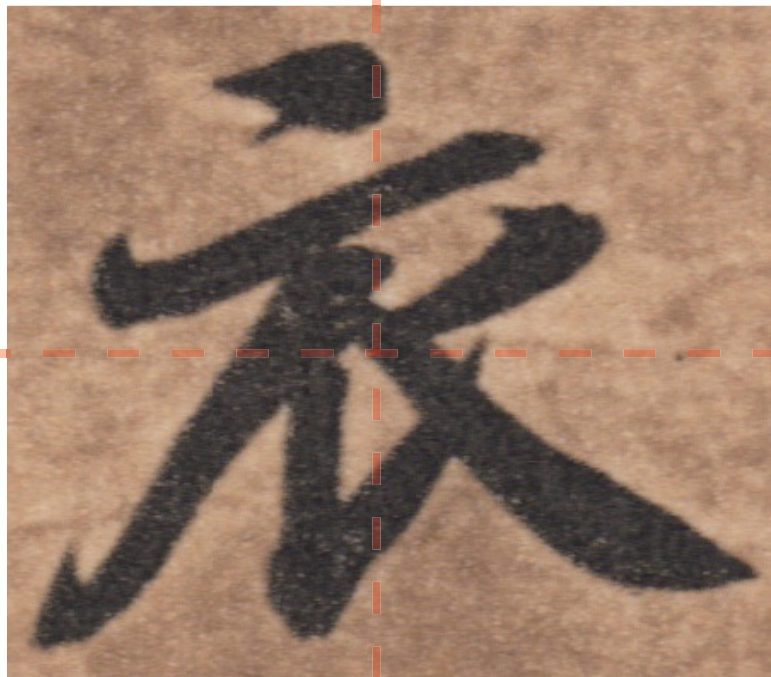


を

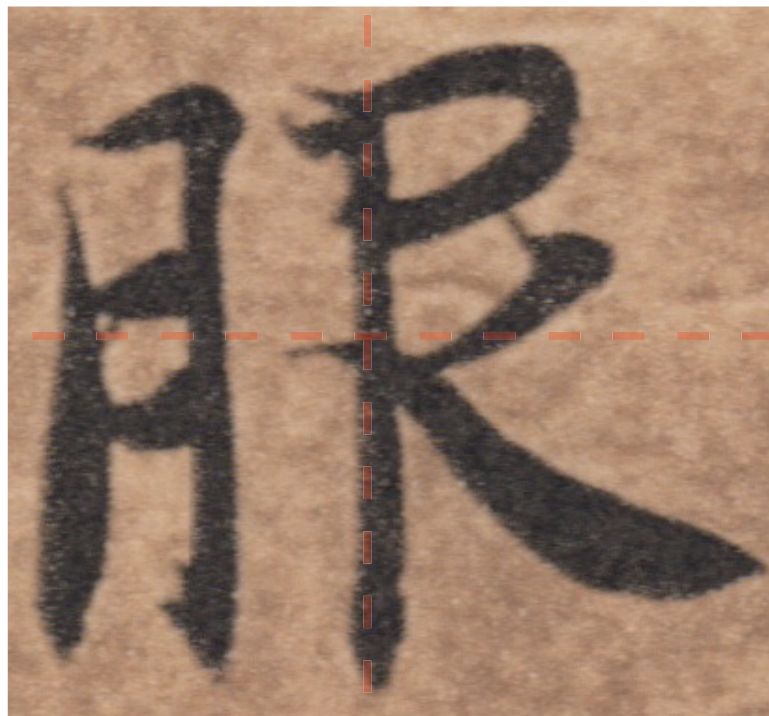
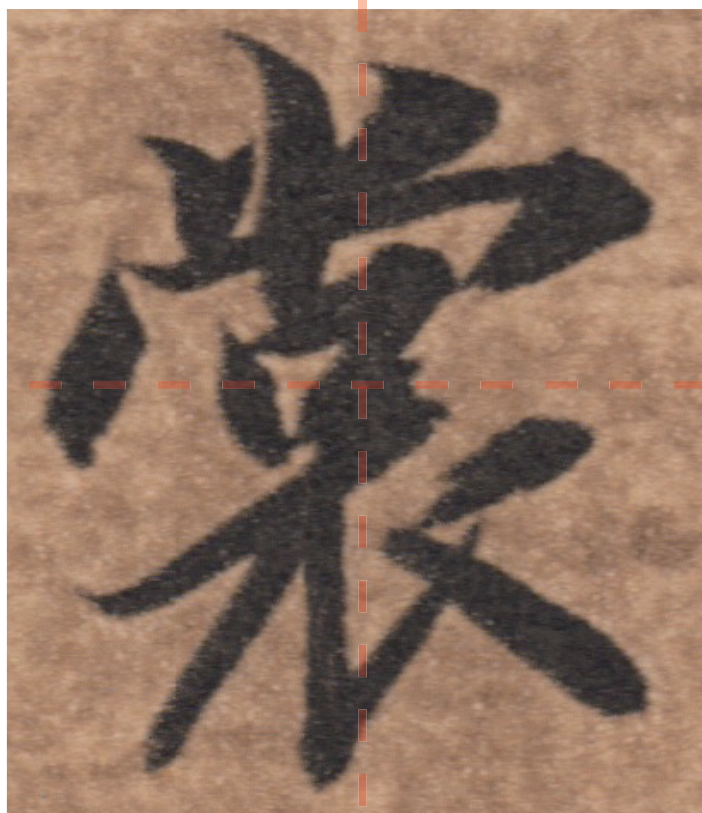


ふく

す。



微



陽

(文字・衣服ができ秩序が定まり)
賢者に帝位を讓った。(陶虞氏が有虞に、
有虞が禹に位を讓ったように。)

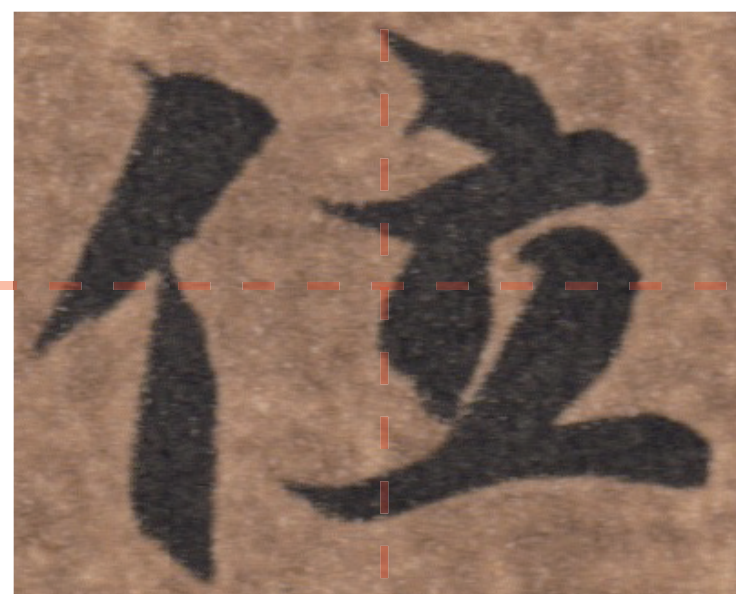
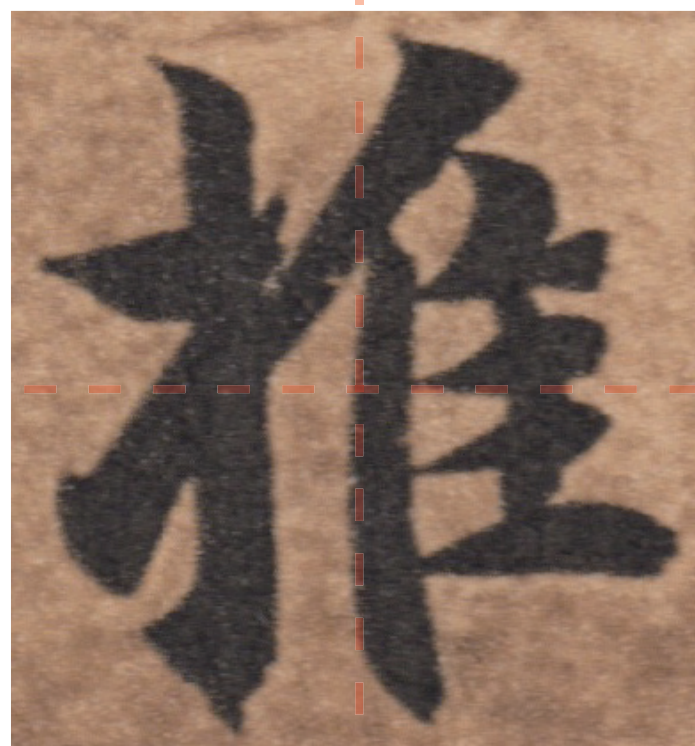
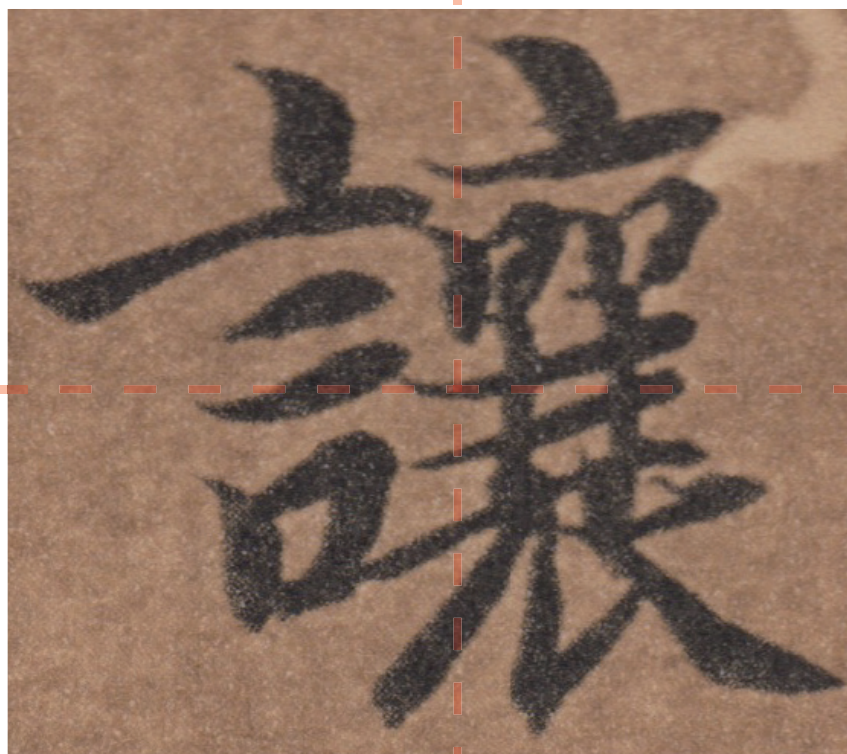
位 い

を推 お

し國 くに

を讓 ゆず

るは(有虞・陶唐)
ゆうぐ とうとう

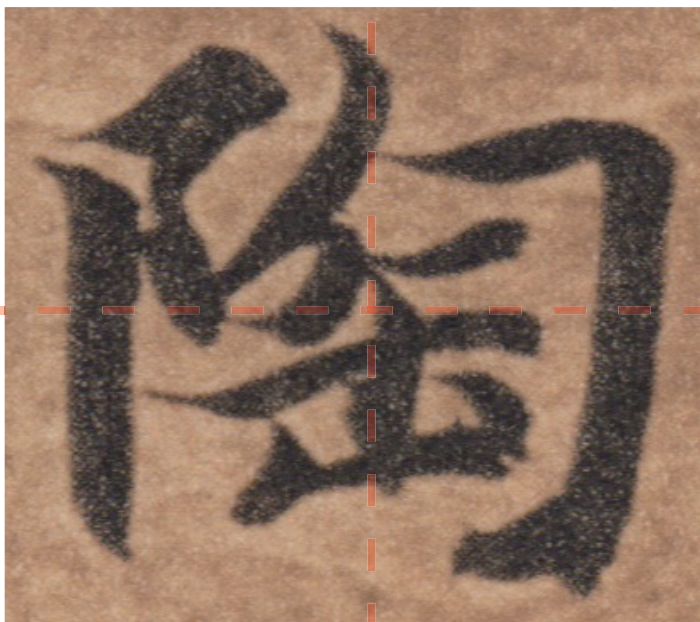


灰支

(位^いを推^おし国^{くに}を譲^{ゆず}るは)

有虞^{ゆうぐ}・陶唐^{とうとう}

(文字・衣服ができた秩序が定まり)
(賢者に帝位を譲った。)
陶虞氏が有虞に、有虞が禹に位を譲ったように。



豪蕭

陽

※虞と同字

虞

暴虐に死亡した残りの人民を弔い、暴君の罪を堂々と討った、(殷の湯王と周の武王発)

※押韻のため殷が後になった。

民

たみ

を

弔

とむら

い

罪

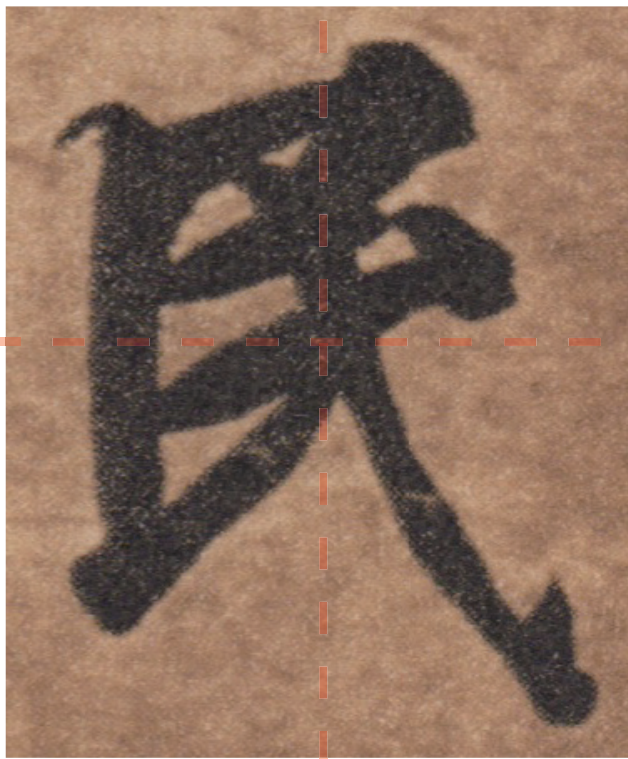
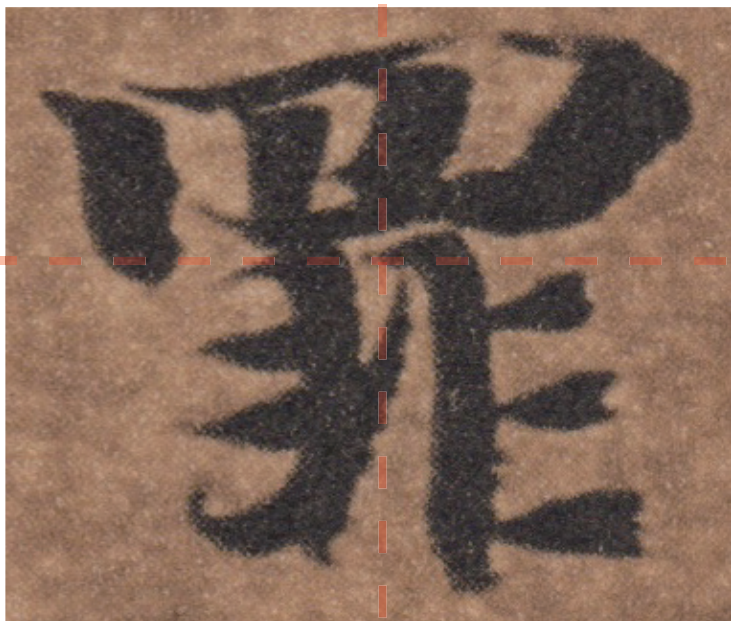
つみ

を

伐

う

つ



(暴虐に死亡した残りの人民を弔い、暴君の罪を堂々と討った。) 殷の湯王と周の武王発

※押韻のため殷が後になった。

周

しゅう

の

發

はつ

殷

いん

の

湯

とう

※殷と同字



文

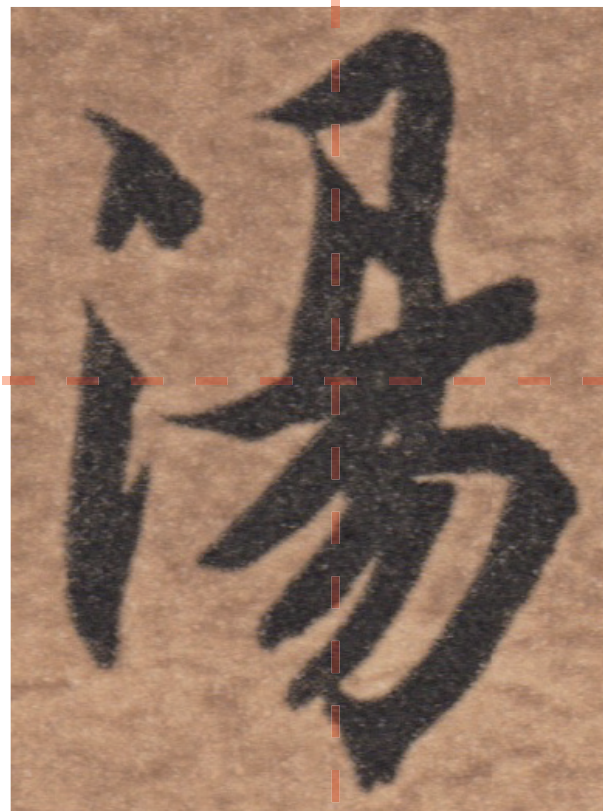


尤

※発と同字



陽



天子が朝廷に坐して不断に道を尋ねもとめて居れば、衣裳を垂れ手をこまねいても百官が等しく和合し、

朝

ちよう

に坐

ざ

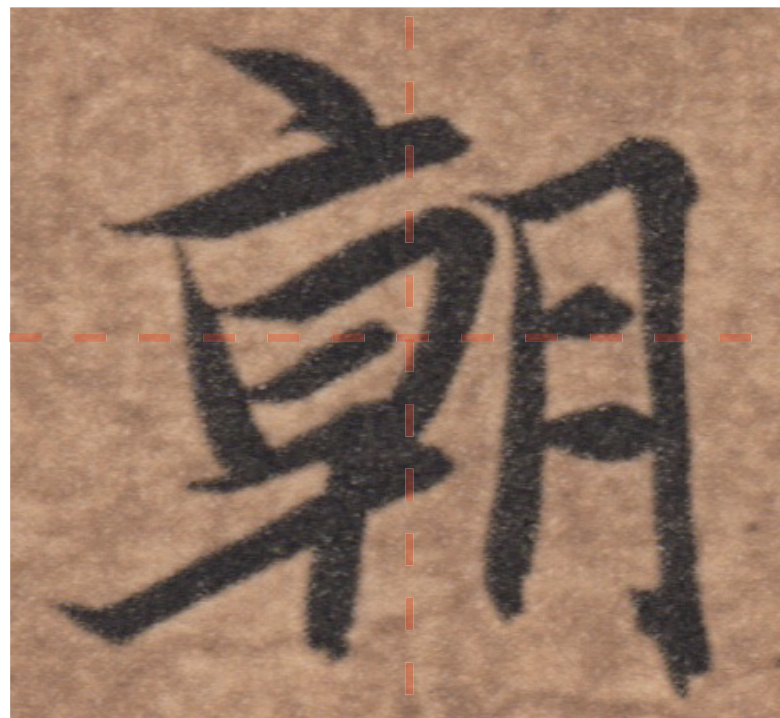
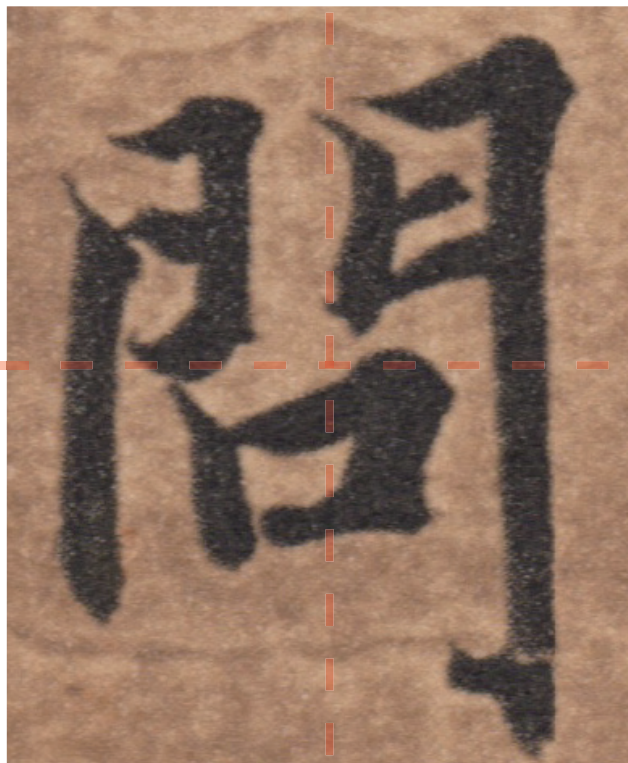
して道

みち

を問

と

へば



それが平等なけじめとなり、天下は治まる。

垂

すい

拱

ぎよう

して

平

へい

章

しよう

す

※章と同字

※垂と同字

庚

支

陽

Copyright(C) 書家 田畑明彦 All Rights Reserved.

人民をいつくしみ育て、

黎

れい

首

しゅ

を愛

あい

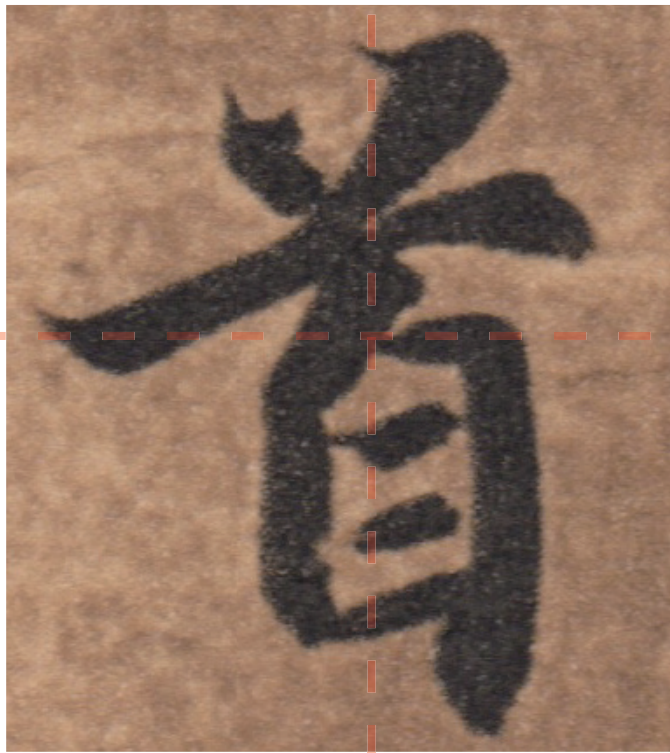
育

いく

し、



※黎と同字



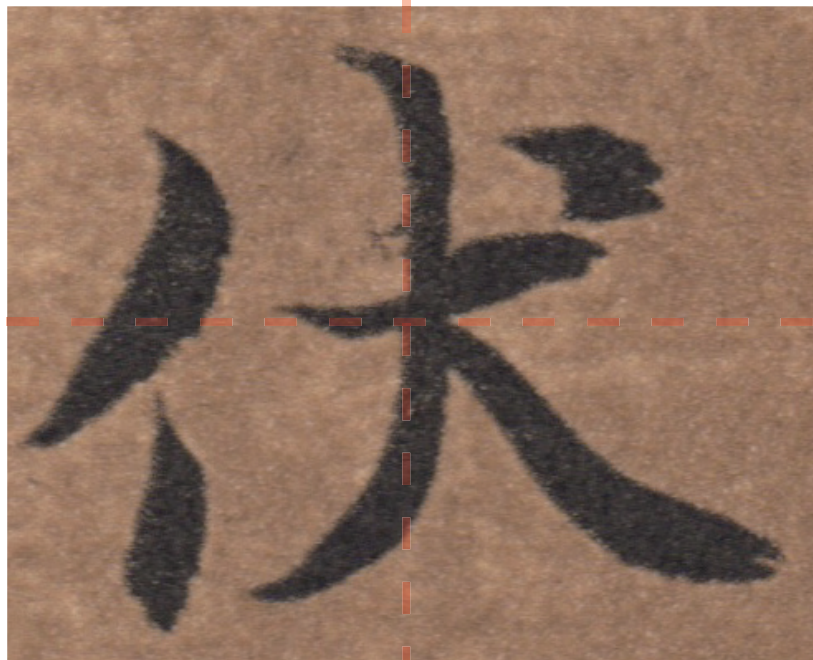
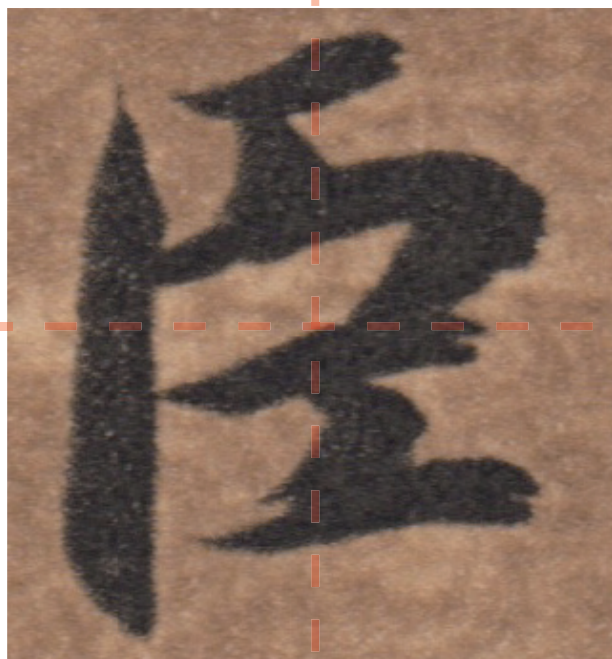
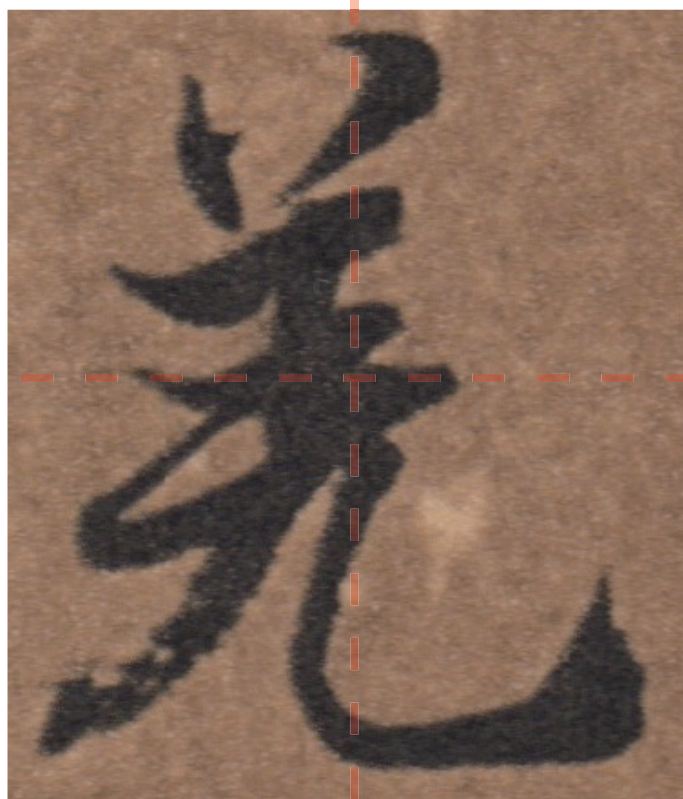
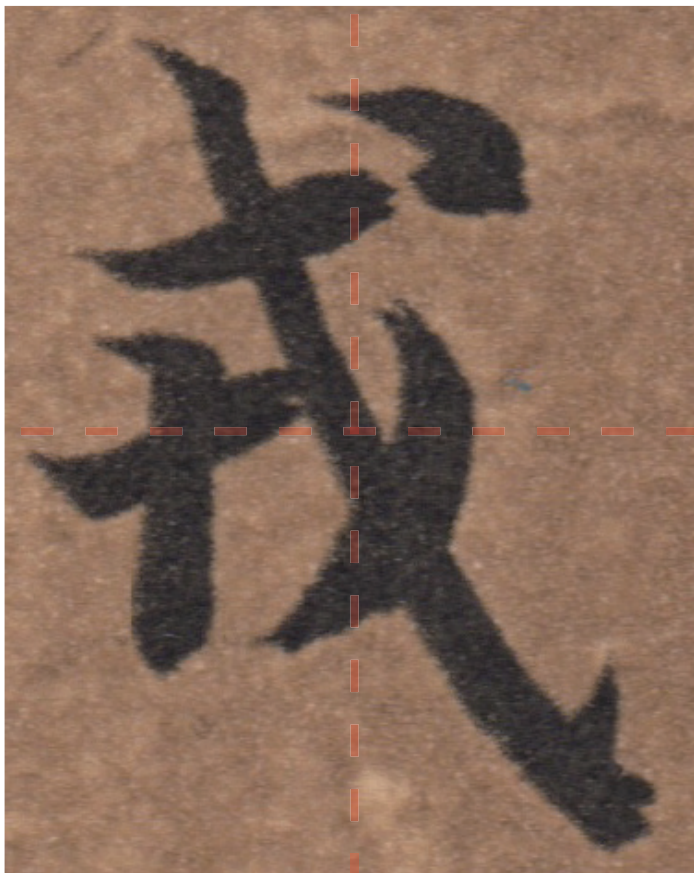
齊支



辺境の戎羌を服従させる。

戎 じゆう
 羌 きやう
 を
 臣 しん
 伏 ぶく

せしむ。



東

真

陽